

4

富士宮市のDX推進の方向性

この章では、本市の考えるDX推進について、その方向性をまとめました。
基本方針と目標を設定し、行動指針及びDX推進に係る施策の体系を整理しました。

1 基本方針と目標

本計画は、第5次富士宮市総合計画(平成28年度～令和7年度)が掲げる将来都市像『富士山の恵みを活かした 元気に輝く国際文化都市』の実現に向けて、DXの推進に関する施策の方向性を打ち出すものです。

近年、デジタル技術が急速に進歩する中、先進的なデジタル技術を活用して、これまでの制度や組織の在り方等を変革するDXの推進が期待されています。

また、現在の社会情勢に対しては、コロナ禍に伴う生活様式の変化による新たな日常への移行や、少子高齢化が進行する中、労働人口の絶対的な不足、いわゆる2040年問題^{*}についても対応していくことが求められています。

それには「制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく」、「デジタル技術やデータを活用して、市民の利便性を向上させる」、「業務効率化を図り、人的資源を行政サービスにつなげていく」といったことが必要です。

そこで、これまでのデジタル化の取組及び国・県の動向、社会情勢等を踏まえ、本市におけるDX推進の基本方針を次のとおり定めます。

【基本方針】

誰にも優しく、誰もが便利に、誰もが安心できるデジタル社会

基本方針の実現に向け、DX推進に取り組むための目標を次のとおり定めます。

【目標】

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1 デジタルで、より快適・より便利を実現 | —市民サービスの向上— |
| 2 デジタルで、人・組織磨きを実現 | —業務の質の向上— |

2 行動指針

DX推進の基本方針の実現に向け、単なるデジタル化の置き換えに留まらないよう、業務そのものや組織、プロセスを変革するものとして、行動指針を次のとおり整理しました。



3 DX推進施策の体系

DX推進の基本方針の実現に向け、施策の体系を次のとおり整理しました。

基本方針 『誰にも優しく、誰もが便利に、誰もが安心できるデジタル社会』

目標1 『デジタルで、より快適・より便利を実現』－市民サービスの向上－

施策1 マイナンバーカードの普及促進

施策2 行政手続のオンライン化

施策3 窓口のデジタル化

施策4 デジタルデバイド対策

施策5 データの利活用

施策6 地域社会のデジタル化

目標2 『デジタルで、人・組織磨きを実現』－業務の質の向上－

施策7 業務改革の推進

施策8 情報システムの標準化・共通化

施策9 富士市との共同電算化事業

施策10 セキュリティ対策の徹底

施策11 テレワーク^{*}の推進

施策12 情報基盤の再構築

施策13 デジタル人材の育成